

コバントビケラ



- 分類(ぶんるい): トビケラ目アシエダトビケラ科
- 学名(がくめい): *Anisocentropus kawamurai*
- 大きさ: 巣の長さは2cmほど。
- 特徴(とくちょう): 幼虫(ようちゅう)は、落ち葉を丸く切り取って、二枚はりあわせた巣をつくります。小さい方の葉が下になります。この中でサナギになります。
- 生息場所(せいそくばしょ): 落ち葉の多いため池や山間の川にすんでいます。
- 分布(ぶんぷ): 日本にすんでいます。出雲市ではため池や川で見つかっています。

シマゲンゴロウ



- 分類(ぶんるい): コウチュウ目ゲンゴロウ科
- 学名(がくめい): *Hydaticus bowringii*
- 大きさ: 体の長さは1.5cmほど。
- 特徴(とくちょう): 体は黒色をしていますが、頭と前胸の一部は黄色です。また、前羽には黄色の模様があります。この模様によって、ほかのゲンゴロウとはかんたんに区別できます。
- 生息場所(せいそくばしょ): 主に田んぼ、池などにすみませんが、とても少ないです。
- 分布(ぶんぷ): 日本とその周辺の国に広くすんでいます。日本では、絶滅(ぜつめつ)が心配されている生きものです。

コシマゲンゴロウ



- 分類(ぶんるい):コウチュウ目ゲンゴロウ科
- 学名(がくめい):*Hydaticus grammicus*
- 大きさ:体の長さは1cmほど。
- 特徴(とくちょう):体は丸く、黄色で、前羽には黒いスジがたくさんあります。後ろ足を動かして、すばやく泳ぐことができます。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に田んぼや池などにすみます。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国にすんでいます。出雲市でも山間の田んぼやため池でよくみられます。平野部の田んぼでもみられます。

コガタノゲンゴロウ



- 分類(ぶんるい):コウチュウ目ゲンゴロウ科
- 学名(がくめい):*Cybister tripunctatus lateralis*
- 大きさ:体の長さは3cmほど。
- 特徴(とくちょう):体は黒く、黄色いふちどりがあります。後ろ足が長く、先に黄色の毛がたくさん生えています。この後ろ足を動かして、泳ぐことができます。
- 生息場所(せいそくばしょ):主にため池などにすみます。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。とても少なくなっているゲンゴロウの一つですが、近年になって増えてきたという報告もあります。

ミズスマシ



- 分類(ぶんるい):コウチュウ目ミズスマシ科
- 学名(がくめい):*Gyrinus japonicus*
- 大きさ:体の長さは7mmほど。
- 特徴(とくちょう):背中黒くてつやがあります。前足はふつうの長さですが、中と後ろ足はとても短いです。水面に浮いて、くるくると回りながら泳ぎます。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に池や川にすみます。
- 分布(ぶんぷ):日本にすんでいます。出雲市でも山間のため池や川にすんでいます。とても少なくなっています。

オオミズスマシ



- 分類(ぶんるい):コウチュウ目ミズスマシ科
- 学名(がくめい):*Dineutus orientalis*
- 大きさ:体の長さは10mmほど。
- 特徴(とくちょう):背中黒くてつやがあり、黄色のふちどりがありません。前足はふつうの長さですが、中と後ろ足はとても短いです。水面に浮いて、くるくると回りながら泳ぎます。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に池にすみます。とくにヒシが浮いている池でよくみられます。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市でもため池でよくみられます。

スジヒラタガムシ



- 分類(ぶんるい):コウチュウ目ガムシ科
- 学名(がくめい):*Helochares nipponicus*
- 大きさ:体の長さは4mmほど。
- 特徴(とくちょう):背中は暗い色をしています。前羽に縦方向のスジがたくさんあります。水中にすんでいます。すばやく泳ぐことはできません。腹の下に空気をためることができます。メスは卵をお腹の下につけたまま育てます。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に池にすみます。平野部でもみられますが、山の方が多いです。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国にすんでいます。出雲市でもため池でよくみられます。

ヒシチビゾウムシ



- 分類(ぶんるい):コウチュウ目チビゾウムシ科
- 学名(がくめい):*Nanophyes japonicus*
- 大きさ:体の長さは2mmほど。
- 特徴(とくちょう):とても小さなゾウムシです。体の色は変化します。ため池のヒシの葉の上でよくみられます。葉の表側に小さくて丸いかじりあとができます。
- 生息場所(せいそくばしょ):ヒシの葉だけを食べるため、ヒシが生えた池にすみます。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市では、ヒシの生えた池があれば、たいていみられます。

メダカ



- 分類(ぶんるい):ダツ目メダカ科
- 学名(がくめい):*Oryzias latipes*
- 大きさ:体の大きさは3-4cm。
- 特徴(とくちょう):同じぐらいの大きさの魚とは、目が大きいこと、口が上向きであること、尾びれが台形で大きいこと、背びれが後ろの方についていることなどで区別できます。
- 生息場所(せいそくばしょ):ため池や小川、水路。
- 分布(ぶんぷ):メダカは、日本に広く分布する魚とされていますが、福井県より北の日本海側にすむメダカは別の種とされています。

かいらいしゅ
外来種

ミシシippiaアカミミガメ



- 分類(ぶんるい):カメ目ヌマガメ科
- 学名(がくめい):*Trachemys scripta*
- 大きさ:甲羅の長さは数cmから30cm。
- 特徴(とくちょう):小さな頃は緑と黄色の模様がある「ミドリガメ」です。目のうしろに赤い色があるのが目立ちますが、大きくなると黒くなってきます。
- 生息場所(せいそくばしょ):池や川、水路などにすみます。
- 分布(ぶんぷ):もともとアメリカにすんでいるカメです。ペットとしてたくさん輸入され、逃げたり放されて野外でも増えています。日本のイシガメが減っている原因の一つと考えられています。ペットは最後まで責任をもって飼いましょう。

ニホンアカガエル



- 分類(ぶんるい):無尾目アカガエル科
- 学名(がくめい):*Rana japonica*
- 大きさ:体の大きさは3-5cm。
- 特徴(とくちょう):背中は赤茶色をしています。腹側は白く、黒いまだら模様はありません。
- 生息場所(せいそくばしょ):ふだんは山の中にすんでいます。真冬に田んぼや池に集まって卵を産みます。オタマジャクシは寒い時期に大きくなり、春までにカエルになります。
- 分布(ぶんぷ):日本では本州と九州にすんでいます。出雲市では平野部以外の地域に広くすんでいます。

ヤマアカガエル



- 分類(ぶんるい):無尾目アカガエル科
- 学名(がくめい):*Rana ornativentris*
- 大きさ:体の長さは3-5cm。
- 特徴(とくちょう):背中は赤茶色をしています。腹側は白く、黒くて大きなまだら模様があります。
- 生息場所(せいそくばしょ):ふだんは山の中にすんでいます。真冬に田んぼや池に集まって卵を産みます。ニホンアカガエルと同じように、春までにカエルになります。
- 分布(ぶんぷ):日本だけにすんでいます。出雲市では平野部以外の地域に広くすんでいます。

モリアオガエル



- 分類(ぶんるい): 無尾目アオガエル科
- 学名(がくめい): *Rhacophorus arboreus*
- 大きさ: 体の大きさは4-8cm。
- 特徴(とくちょう): 背中は緑色で、腹側は白いです。目は赤や赤みのあるオレンジ色をしています。木の枝や水辺に、ソフトボールほどの大きさのあわのかたまりを産みます。中に卵があります。
- 生息場所(せいそくばしょ): 山にすんでいます。山間の田んぼやため池などで卵を産みます。
- 分布(ぶんぷ): 本州と佐渡にすんでいます。出雲市では主に山間に多くすんでいます。夜に活動することや木の上にいることが多いため、みつけるのは難しいです。

シュレーゲルアオガエル



- 分類(ぶんるい): 無尾目アオガエル科
- 学名(がくめい): *Rhacophorus schlegelii*
- 大きさ: 体の長さは3-5cm。
- 特徴(とくちょう): 背中は緑色か茶色で、腹側は白いです。目は黄色をしています。水辺にトンネルを掘って、その中にあわと卵をいっしょに産みます。
- 生息場所(せいそくばしょ): 山にすんでいます。山間の田んぼやため池などで卵を産みます。
- 分布(ぶんぷ): 本州、四国、九州などにすんでいます。出雲市では主に山間に多くすんでいます。地面の下や木の上にいるので、みつけるのは難しいです。春に田んぼでよくなります。

ニホンアマガエル



- 分類(ぶんるい):無尾目アマガエル科
- 学名(がくめい):*Hyla japonica*
- 大きさ:体の大きさは3-4cm。
- 特徴(とくちょう):鼻から目、耳にかけて黒いです。体は緑色が多いですが、いる場所の色によって、灰色や茶色になります。たまに黄色や青色のカエルが見つかることがあります。これは突然変異(とつぜんへんい)です。
- 生息場所(せいそくばしょ):春から夏にかけて田んぼでよくみられますが、木の上にもよく登ります。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市でも、もっともふつうにみられるカエルです。

シマヘビ



- 分類(ぶんるい):有鱗目ナミヘビ科
- 学名(がくめい):*Elaphe quadrivirgata*
- 大きさ:体の長さは30-150cm。
- 特徴(とくちょう):成長したヘビには、ふつう4本のシマ模様があります。たまに背中が真っ黒なシマヘビもいます。幼いヘビは、あずき色の模様があります。
- 生息場所(せいそくばしょ):田んぼや池、畑のまわりにすんでいます。天気の良い日には、太陽の光を浴びて体をあたためます。
- 分布(ぶんぷ):日本にだけ分布するヘビです。北海道、本州、四国、九州にすんでいます。



モリオオガエル

出雲市のため池にすむ生きものたち2

発行 出雲市文化環境部 環境政策課
〒693-8530 出雲市今市町70
TEL 21-6987/FAX 21-6597
協力 ホシザキグリーン財団(調査受託)
印刷所 千鳥印刷株式会社